

# 建材 マンスリー

No.646 **8** AUGUST  
2019

特集

創刊55周年企画・特別座談会

これからの“住まい”のあり方  
～暮らしはどう変わるか～

注目企業を訪ねる

株式会社由紀精密



# これからの「住まい」のあり方 暮らしはどのように変わるか

## 働

き方改革の一環として進められるテレワークが増えるにつれ、住宅の中は仕事と生活のボーダレス化が進む。また超高齢社会や共働き世帯の増加など、介護や育児への周囲のサポートの必要性が高まり、内側に閉じていた住宅は、外に開くことが求められるようになる。私たちの生活は、これからの10年でどのように変化していくのだろうか。またその変化の中、住宅はどのように変わっていくのか。暮らし方の価値観やライフスタイルの変化という視点から、「住まい」のあり方を考えてみたい。今号は、創刊55周年特別企画として各分野の専門家を招き、これからの暮らしと住まいをテーマに座談会を開いた。

(司会・住生活ジャーナリスト 藤井繁子氏)

## 仲 俊治氏

建築家  
株式会社仲建築設計スタジオ  
代表取締役



## 小泉 貴子氏

東京ガス株式会社  
都市生活研究所  
統括研究員



## 久我 尚子氏

株式会社ニッセイ基礎研究所  
生活研究部  
主任研究員





小泉 貴子 (こいずみ たかこ)

東京ガス株式会社 都市生活研究所 統括研究員／  
一級建築士  
2006年マッコーリー大学大学院商学研究所情報工学専攻修了。営業部門にて住宅関連企業向けに、住まいや街作りの提案を実施。2018年4月より現職。法人を中心とした商品企画コンサルテーションを担務。

## 暮らしのデータから、消費者の生活の変化を読み取る

— 最近、人々の暮らし方や住宅の選び方に変化の兆しはありますか？

**久我** 私は日々様々なデータから消費者の暮らしを読み解いています。住宅関連の変化では、比較的若い年齢層の持ち家率が高まっていることが挙げられます。低金利や女性の経済力が上がっていることが要因ですが、都市部では30代前後の「单身持ち家女子」が増えているようです。

共働き世帯は利便性を重視して都心のマンションを買う人が増えており、なかでも「パワーカップル」と呼ばれる夫婦ともに年収700万円以上といった経済力のある世帯が、都心の高額マンション市場の牽引力になっているようです。確実に今後増

えるのは単身世帯です。2040年ごろには全体の4割を占めるようになり、特に高齢の単身世帯増加が気になります。

**小泉** 仕事と生活の調和をどう取るかという、ワーク・ライフ・バランスに対する考え方に変化が見られます。以前は「生活の力点を仕事と余暇のどちらに置くか」という質問に対して「仕事」と答える方が多かったのですが、だんだん「余暇重視派」が増え、2017年の調査で初めて「仕事重視派」を上回りました。そうはいっても仕事も子育ても忙しい中、時間に対する意識も高く、余暇はどこかに出かけたりするのはなく、家の中でゆっくり過ごす傾向に変わりつつあります。私たちはそれを「ウチ余暇」と呼んでいます。

例えば、家族全員で料理を作ると

また、今、政府の旗振りでテレワーク<sup>＊1</sup>が普及推進する「テレワーク・デイズ」が開催されていて、在宅ワークなどのテレワーク実施に大きな流れができてつつあるので、暮らし方の変化が注目されます。

## 外側に開かれた暮らしを実現する住まい

— 仕事と生活のボーダレス化という話がありました。そのために住まいはどのような形になり、建築としてどう納めていくのでしょうか。

**仲** 僕は建築家ですが、大学や企業との共同研究もしています。そこでは、経済ベースだけではない観点で住まいに大切なことを考えたりします。例えば、単身世帯の場合、元氣なうちはいいですが、病気になるうちは年を取ったらどうするのか。子育

か、入浴で汚れを落とすだけでなく、よい香りの入浴剤を使ってみるなど、ちよつとした工夫で、日常の当たり前の行為に非日常を組み入れることができます。家の中の暮らしが充実することで、住空間の重要性はより増してくるでしょう。

## 在宅ワークの増加で仕事と生活がボーダレスに

**久我** 仕事と生活の両立が大切になります。働き方改革の中で、在宅ワークを推進する際よくいわれるのが、家の中の女性の仕事と家事・育児の両立です。今、新入社員の男性の8割が育児を取りたいというデータがあるので、この両立問題は男女共通になりつつあります。一方で高齢化が進んでくると、仕事と介護との

両立問題も出てくるわけです。ですから在宅ワークでは、自ずと仕事と生活がボーダレスになってくる。そんな暮らし方が広がっていると思います。

**仲** 僕自身も事務所と家が一緒で、妻とともに子どもを育てながら働いています。ご飯は必ず一緒に食べられるし、時々近所の子どもがやってくることもあります。昼間に大人がいる場所が地域の中にあるのは、小さな子どもにとって大事なのかなと再認識しています。

**久我** 働く時間を自由に選択することに関しては、多くの企業で有給休暇を時間単位で取れる仕組みが作られています。15分くらいで終わる小学校の面談などには、この有給休暇制度はとても助かります。



仲 俊治 (なか としはる)

建築家 株式会社 仲建築設計スタジオ 代表取締役  
2001年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了。山本理顕設計工場を経て2009年仲建築設計スタジオ設立。2016年ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館出展。2019年度グッドデザイン賞審査員建築(戸建て～小規模集合住宅)ユニットリーダー。循環に着目した建築を設計する。主な作品に「食堂付きアパート」(グッドデザイン金賞、日本建築学会新人賞、吉岡賞)、「上総喜望の郷おむかいさん」(千葉県建築文化賞)、「白馬の山荘」(JIA環境建築賞)。主な著書に「脱住宅」(平凡社)、「2つの循環」(LIXIL出版)。

パート<sup>＊2</sup>も、外側との関係を重視されていますね。

**仲** このアパートは、5つのSOHO<sup>＊2</sup>住居と食堂、シェアオフィスからなる集合住宅です。(P7、図参照)各戸へのアクセスは共用の廊下と玄関前のテラスを一体化させているので、一見したところ「路地」のように見えます。「路地」に対して開放された各住居のスタジオは仕事や趣味の場所で、寝室などのプライベートな空間はスタジオの奥に配置されています。一方、食堂はアパートと外部の双方に開かれたお店で、アパートの住人やシェアオフィスの利用者だけでなく、近所の人たちも利用できます。食堂は街とアパートの中間であり、スタジオは住宅と外部の中間であって、内外の境界を緩めて相互に浸透するような中間領域をあちこちに作っています。

「住む」と「働く」がボーダレスになるなど、家の中も含めて境界が変わってくるのは、建築の変革という観点から見るととても面白い現象です。建築は境界を作る技術ですから、「内と外」や「プライベートとパブリック」などの新しい境界の枠組みが出てきます。そうならたら例え

ば玄関ドアのあり方も変わります。多分、境界のデザインは相当変わってくるだろうと思っています。

## 周りの人々との関わりを作り出す家づくり

**小泉** 中間領域は住人の気持ちを外に向かわせたり、内にこもらせたりといった切り替え場所になるのではないのでしょうか。また、庭も敷地の外と家との中間領域で、「花が咲いたなあ」といった通行人との無言の対話が地域を魅力的にし、暮らしの豊かさをもたらずのではないかと考えています。

私たちは子育てでも高齢化でも、いざれ周りの人たちとの関わりが必要になることを、家を買う時点では気づかないことが多いですね。高い塀を作ったり、外から見えないように木をたくさん植えたりします。でも外の人が気軽に家に入れる場所や、自らが外と関われる場所を作ることによって、将来、自分を見守ってくれる人たちのコミュニティの中にいられる。そのため仕掛けは何なのかを考える必要があります。

**久我** 今は家族がコンパクト化しているの、家の中が人手不足なんで

<sup>＊1</sup> テレワーク：ICT(情報通信技術)を活用して、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働く形態。在宅ワーク、モバイルワーク、サテライトオフィス、SOHOなどがある。2019年のテレワーク・デイズは7月22日～9月6日に開催

<sup>＊2</sup> SOHO：Small-Office Home-Officeの略。パソコンやインターネットを活用して、自宅など小規模のオフィスで仕事をする形態



司会：藤井 繁子（ふじい しげこ）

住生活ジャーナリスト/コンサルタント  
1986年関西大学社会学部（マスコミ専攻）卒業。リクルート社に入社し、「月刊HOUSING」編集長、リクルートすまい研究所主任研究員などを経て、フリーの住生活ジャーナリストに。国内外在住生活者視点で取材執筆、コンサルティング活動を行う。消費者・ユーザー動向の分析や商品企画に強い。神奈川県総合計画審議会、逗子市総合計画審議会/まちづくり審議会委員などを歴任。

す。そのため家事代行の他人が家の中に入ってきたり、あるいはファミリーサポートで地域の高齢者が子育てを手助けするなど、だんだんと家庭内の生活を外の人が支える仕組みが整ってきています。

**仲** 他人が家の中に入ってくる時、家の中に外向きの場所があれば入りやすくなります。ただ人間は感覚的なところがあるので、ここから先に入られたら嫌だな、ここまでならいいな、となる。守りたいところと開放するところは、家の作り方で示せると思います。

ボーダレスな中間領域の具体的な作り方としては、縁側とか屋根のある外の場所などがあります。そこでぼーっとしていても様になる、という場なら人が集まりやすいですね。そこにすだれをかけてもいいし生け垣を作ってもいい。とにかく気

持ちがいいからそこにいる、という場所を作りたい。そしてまたま通り過ぎる人とコミュニケーションや会話が生まれるのが、この中間領域の良さです。技術面でいうと、内と外を分ける建材はガラスなどの重いものでなく、のれんのように外に出やすく、必要な時はきっちり閉まってセキュリティも保てるような素材があると面白い。分ける材料や建材に新しさができるときっと売れますよ（笑）。

### 高齢者の暮らしを見守りサポートする取り組み

**仲** これからの10年は確実に人口減少が実感され、多くの人が共に暮らすことに重きを置くようになるのではないのでしょうか。「共に」というのは、他者という可能性もあるし、近居や三世帯住居などいろいろ考えら

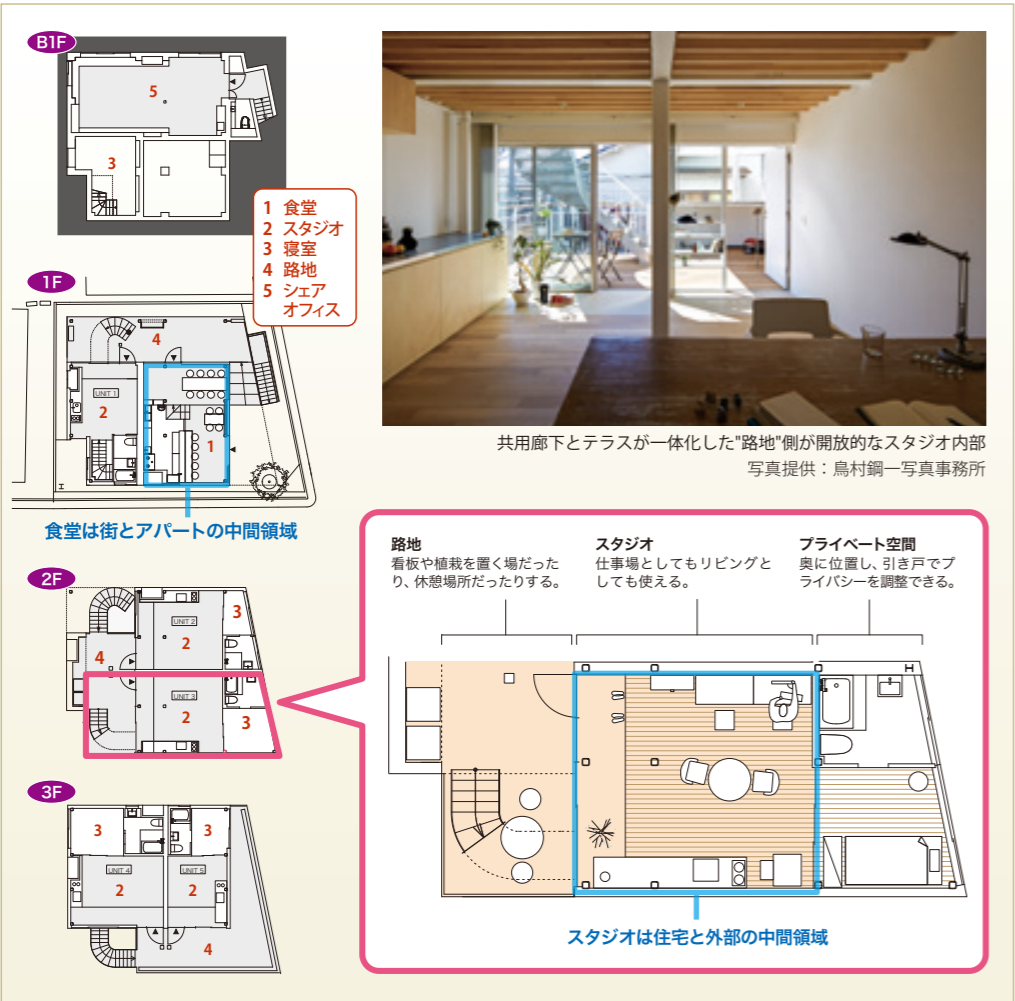
れますが、実際の建築の作り方として試され、評価されるタイミンングだと思っています。

**久我** 高齢者層では生活保護受給世帯が増え、貧困が問題となっていて、高齢の生活保護受給世帯は大半が単身世帯なので、孤立や孤独の問題にもつながっていきます。その解決のために、誰かと緩くつながる居住環境や仕組み作りを、行政が率先してやっていたらいいことを望みます。

**小泉** ガス会社は、ガス機器やガスの供給を通して、生活者に密接に関わっています。家庭に設置されているガスメーターの動作を検知することで、高齢者の見守りをするサービスなどもあります。また、食生活を通して、健康長寿に寄与できないかと考えており、特に男性シニアに調理に興味を持ってもらいたいですね。最近では、定番料理を作れるように、男性だけの少人数の料理教室を開いており、人気があります。

**仲** やはり食を介すると、人と話しやすいですね。先ほどお話しした「食堂付きアパート」も地域に開かれていて、半開きのシェアスペースみたいな食堂が地域住民をつなぐ役割を果たしています。食に関してはみん

図「食堂付きアパート」の間取り



箱もののサ高住や老人ホームでは成し得ない多世代共生に向けた考え方が評価されました。

**久我** シニア世代が気軽に助け・助けられる環境が広がるというなどが

思っています。特に高齢男性は、自分がしてもらっただけでは頼みにくいようです。自分が手助けする代わりにしてもらおうといったハードルを下げる仕掛けがあるとよいですね。

**仲** URみさと団地では、特技を交換する試みが行われています。バラエティに富んだ1万5000人も人が住んでいるので、特技披露の担い手が受け手になることもあります。楽しさと小遣い稼ぎが両立してうまく持続していて、シニア同士の触れ合いの場所にもなっています。

それから、「高齢男性を救え」といったテーマの共同研究で、「マンションの廊下を北側から南側に」という提案をしたことがあります。もし南側に廊下があれば、縁側のような玄関が作れる。そこを仕事場や店や趣味の部屋とする。そして、日向ぼっこするように自然と気持ちの良い場所にみんなが出てくる。こうした中間領域を作れると、シニアの引きこもりなども防げるかもしれません。縁側もそうですが、こうした場所は日本の気候風土が作ってきた一つの空間装置だと思うので、それを再評価してもいいのではないのでしょうか。

### 10年後に向けて取り組んでみたいテーマ

— 今後チャレンジしてみたいテーマは何でしょうか？

**仲** いくつかの拠点をネットワーク

な一言があるので、とても会話が弾みます。

高齢者の住居に関しては、僕のプロジェクトではないですが、昨年のグッドデザイン・ベスト100に選ばれた、サービス付き高齢者向け住宅「ゆいま〜る高島平」の取り組みに関心を持ちました。UR高島平団地の1棟121戸のうち、各階に虫喰い状に分散している30戸ほどの空き部屋をサ高住として改修したもので、施設としてのサ高住ではないので、同じフロアには子育て世代などいろいろな世代が同居しています。



仲俊治氏設計の「食堂付きアパート」。  
5つのSOHO住戸、食堂、シェアオフィスからなる  
写真提供：仲建築設計スタジオ

# 注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

## 技術力で家業を立て直し 宇宙へ飛び出した 町工場



代表取締役 社長

大坪 正人 氏

本社 ● 神奈川県茅ヶ崎市円蔵 370  
創業 ● 1961年  
資本金 ● 3,500万円  
従業員 ● 47名  
事業内容 ● 航空宇宙関連部品、医療機器  
関連部品、電機電子機器部品  
の試作・量産、人工衛星筐体  
の設計・製作等

競合が生まれにくい高品質かつ  
付加価値の高い製品で勝負

「町工場が未知の航空宇宙産業に進出し、経営危機から一転、V字回復…。そんなドラマのような飛躍的成長を遂げているのが、長年金属の切削加工を手がけてきた由紀精密である。大手航空機メーカーやJAXA（宇宙航空研究開発機構）などを取引先とし、売り上げはおよそ4億円。この10年で4倍という大躍進である。」

「当社は、ネジづくりから始まった精密切削加工の工場です。私の祖父が創業し、父の代では大手電機メーカーの下請けとして公衆電話のテレホンカードリーダーの部品を製造していました。しかし、公衆電話

「スペースシャトルや航空機のエンジンにも採用されているニッケル合金は、粘り気のある耐熱合金で加工が非常に難しい材料です。これを複雑に切削したサンプルを展示したところ、『こんなことができるのか』と出展ブースには人だかりができました。並行してWebサイトでも情報発信を行ったことで、JAXAのテストパーツを受注することができました」

日本の町工場や中小製造業に合う  
グループ化モデルを構築する

「その後当社では、従来の下請けにとどまらず、受注開発にも乗り出した。大手航空機メーカーからアドバイザーを招いたり、衛星メーカーと組むことでノウハウを蓄積。開発部を立ち上げて設計、製造、検査の一貫体制を構築し、コストダウンと短納期も可能にした。」

「行った改革が功を奏し、2013年には人工衛星ベンチャーとタッグを組んで、パーツのほとんどを弊社で製造した人工衛星が打ち上げられました。さらに、医療機器分野への参入も順調です。このうち脊椎インプラントの手術機器には設計から携わり、5年の歳月をかけて量産製造に至っています。もともと海外製品がほとんどを占めていましたが、日本人のサイズに合ったものをつくりたいという二

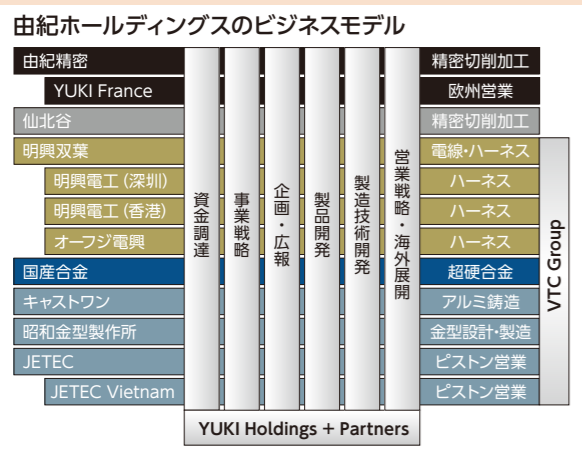
# 株式会社 由紀精密

### ここが注目ポイント

自社の強みを第三者的視点で認識し  
新領域へ方向転換

技術力を武器に品質要求が厳しい  
分野で受注開発に成功

中小製造企業をグループ化し  
技術継承とビジネス拡大に寄与



医療機械分野では脊椎インプラントの手術機器（写真左）、内視鏡光学用部品などを製造。航空宇宙分野では、人工衛星の部品開発や、東京薬科大学やJAXAなどとともに「たんぽぽ計画」（写真右）の実験にも参加する



2008年、航空関連の展示会で出品したニッケル合金の加工技術サンプル「インコネルメッシュ」。メッシュ部は97.3%の体積を除去、厚さ約0.2mmでバネのように曲がる

の需要減少などで売り上げが激減。長い歳月をかけて培われてきた家業の技術を消滅させてはいけないと思い、2006年から私も当社に入り、改革に着手しました」

「大坪氏はまず、顧客先の業界を変え、ことを決意する。業界を決めるヒントになったのが、取引先企業に対するアンケート調査だ。由紀精密の強みは何か。自分たちでは気づいていないことがあるかもしれないと、第三者的視点からの意見を求めたのだ。すると、どの企業からも同様の回答が得られた。それは、「加工の精密さ」と「高品質に対する信頼性」である。」

「改めて、当社に期待されていることに気づかされました。そして、その強みを生かせる分野として、人の命に関わるなど高い安全性の確保が不可欠な航空宇宙産業と医療機器産業に狙いを定めました。品質要求がより厳しい業界であるほど、高品質かつ付加価値が高い製品を提供することができれば、競合も生まれにくいはずです」

「とはいえ、土地勘のまったくない業界への参入である。まずは技術力をアピールし、未開拓分野で自社を知ってもらうことが先決だ。そこで2008年、航空関連の展示会に参加、新業界参入への第一歩を踏み出した。」

「が多かったようで、お声がけいただきました。当社の技術力が注目され、意義のあるものづくりに携わることができるようになりました」

「2017年、大坪氏は「由紀ホールディングス」を設立。技術力はあるものの後継者問題を抱える中小企業をグループ化した。強みを生かし弱みを補完することで技術継承を推進し、独立性を保ちつつグローバルに活躍できる企業集団を目指す。」

「現在グループ企業は全14社。各企業の個性が光るような環境づくりを目指していきます。例えば、ルイ・ヴィトンなど数多くのブランドを傘下に持つLVMHグループ\*のように、ホールディングスは側面支援に徹し、ブランドが個々に活躍できることが理想です。中小の技術は多分野で活用できるものが多く、大手の傘下に入ってしまうと特定の分野でしか生かせなくなる恐れもあります。だからこそ、中小だけで組む意義がある。日本の町工場や中小製造業に合うモデルをつくっていききたいですね」

「由紀精密の今後の展望としては、航空宇宙や医療だけにこだわらず、世の中がよくなる様々な分野に技術を活用していきたいという大坪氏。「林業の人材不足を解消するロボット開発などにも携わることができれば」と語ってくれた。」

\* LVMHグループ：フェンディ、ジバンシー、クリスチャン・ディオール、モエ・エ・シャンドン、タグ・ホイヤーといった75もの卓越したブランドで構成されている

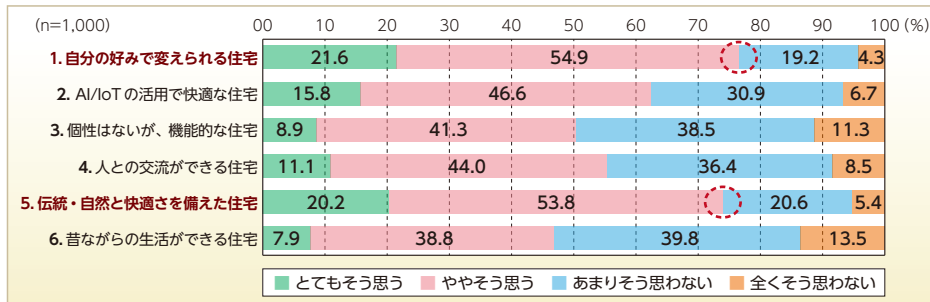
## 「令和元年版国土交通白書」を公表 令和時代の「豊かな生活空間」とは — 国土交通省

今回の国土交通白書では、平成を「技術の進歩」と「日本人の感性（美意識）」から振り返り、新しい時代に求められる「豊かな生活空間」について考察した。

### ■ 平成における変化

ICT（情報通信技術）、AIなどの新技術が生まれ、暮らしが大きく変化した。また、日本人の感性（美意識）は「心の豊かさ」を重視し、「自然」「歴史と伝統」など日本

### ● 住んでみたい未来の住宅



「自分の好みで変えられる住宅」と「伝統・自然と快適さを備えた住宅」が、「とてもそう思う」と「ややそう思う」で、あわせて7割を超えた  
資料) 国土交通省「国民意識調査」

人の昔から持つ感性（美意識）を以前よりも大切にするようになってきた。

### ■ 新しい時代の変化

技術の進展などにより、生活や労働などの「時間的・場所的制約」からさらに解放され、多様な生活や仕事のスタイルが選択可能になる。価値の高い時間を過ごすためには「生活空間」に日本人の感性（美意識）を取り込むことがますます重要になってくる。

### ■ 国土交通政策の方向性

生活空間では、新技術と一体となった新たな取り組み（サイエンスとアートの融合）を行う必要がある。「住空間」は、リノベーションや新技術により居住者の感性がさらに反映される空間などにしていくことが重要。

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h30/hakusho/r01/pdf/npzentai.pdf>

## タイ・バンコクで初の高級分譲マンション 「Hyde Heritage Thonglor」を販売開始 — 住友林業

住友林業株式会社はタイ・バンコクの大手不動産開発会社と共同開発した高級分譲マンション「Hyde Heritage Thonglor（ハイドヘリテイジトンロー）」を4月から本格販売。住友林業にとってタイでは初の不動産分譲プロジェクトとなる。

経済成長が著しいタイの首都バンコク中心部のBTS トンロー駅から徒歩5分の高級住宅地に建設。利便性に優れ、付近には多くの日本人も居住している。大通りに隣接するため希少性が高く、地域のランドマークともなる物件だ。竣工は2021年の予定。

マンションは地上45階建て311戸、販売価格3,800万円から（平均分譲価格 約6,700万円）。主なプランは1~3ベッドルーム、penthouse。共用部は、39~41階に展望スカイプール・サウナ・ゴルフシミュレーター、7階にシアタールームなどを配してハイエンドなファシリティを提供する。建築計画は住友林業と現地パートナーが協議を重ね、タイ

のニーズに対応。居住者の生活動線を考え、使いやすさと快適さを備え合わせた住空間を実現している。購入は国籍問わず可能。現地のセールスギャラリーは予約なしで見学ができる。



セールスギャラリーのモデルルーム



■ 問い合わせ先：住友林業株式会社 アジア・オセアニア事業推進部  
鈴木・相浦 TEL：03-3214-3540  
e-mail：thai-residence@sfc.co.jp  
受付時間：9:15~17:30 / 定休日：土・日曜・祝日

### 編集室より

- 弊社ホームページに特集ページのみを掲載中です。  
<http://sfc.jp/mokuzai/kenzaimonthly/>
- 広告掲載・誌面に対するご意見、ご感想は  
建材マンスリー編集室専用アドレスまでお寄せください。  
[kenzai-monthly@sfc.co.jp](mailto:kenzai-monthly@sfc.co.jp)

住友林業株式会社 木材建材事業本部 業務企画部

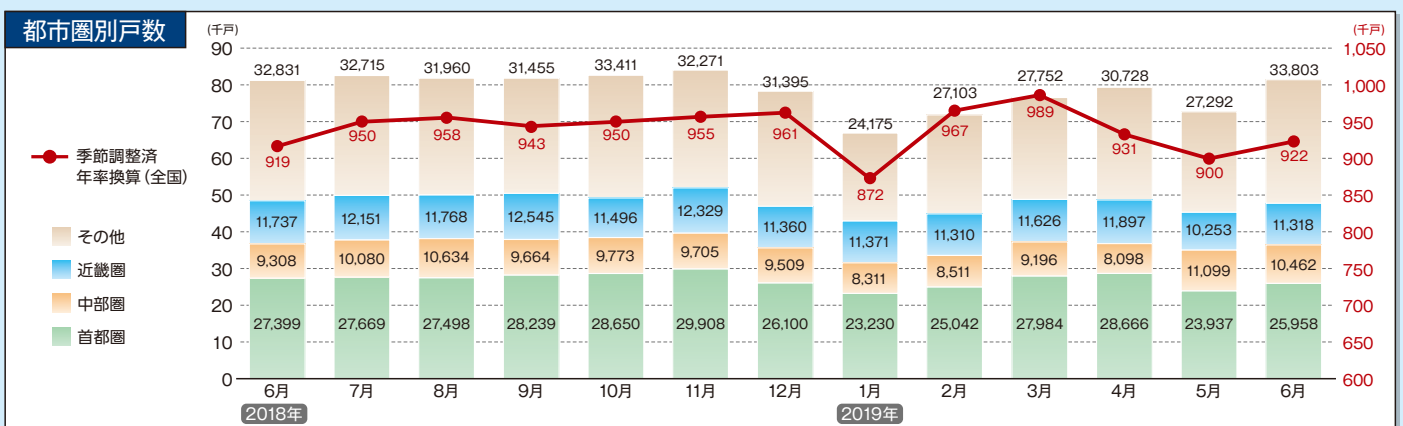
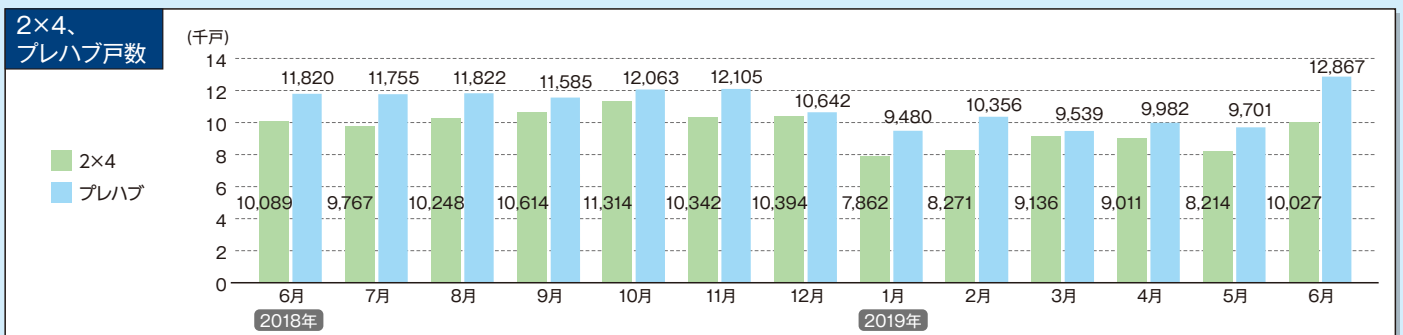
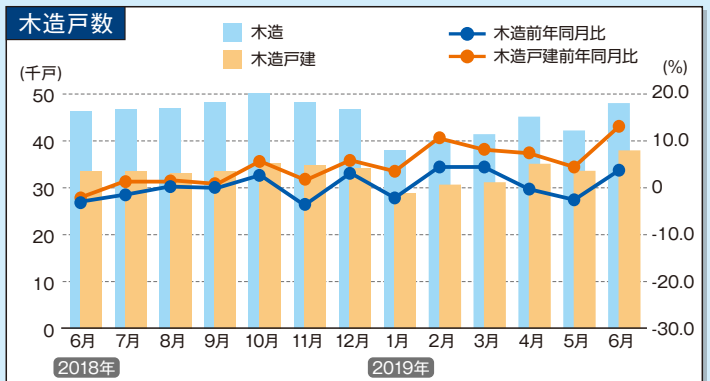
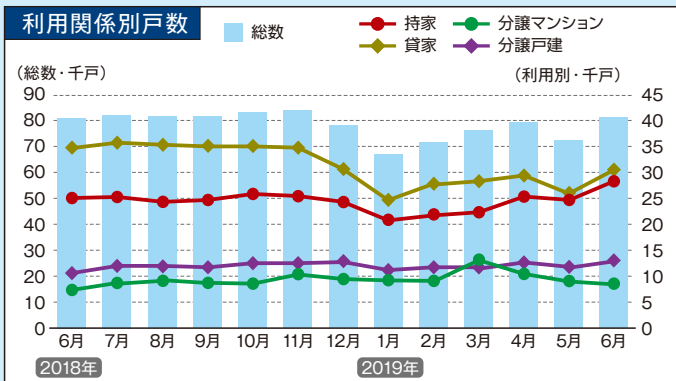
日本の新幹線としては最古の歴史を持つ東海道新幹線は今年で開通55周年。車両は懐かしフェイスの0系から最新N700系まで5回のモデルチェンジで進化を遂げ、最高速度は時速75kmも速くなっているそうです。本誌もおかげ様で創刊55周年を迎えることができました。業界の歴史を形に残し、つないでいくことに身の引き締まる思いです。これからも適宜リニューアルをしながら、業界に寄り添った旬な情報をいち早くお届けできる媒体を目指し努めてまいります。(M)

表紙：住友林業（株）住宅・建築事業本部 東京中央支店 ハウジングステージ新宿展示場

\* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

## 2019年6月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		6月					5月	4月	3月
		対前年同月比		対前々年同月比					
<b>新設住宅計</b>		<b>81,541</b>	<b>266</b>	<b>0.3%</b>	<b>▲ 5,915</b>	<b>▲ 6.8%</b>	<b>72,581</b>	<b>79,389</b>	<b>76,558</b>
建築主別	公共	579	▲ 931	▲ 61.7%	▲ 912	▲ 61.2%	1,861	1,448	1,011
	民間	80,962	1,197	1.5%	▲ 5,003	▲ 5.8%	70,720	77,941	75,547
利用関係別	持家	28,394	3,246	12.9%	2,357	9.1%	24,826	25,436	22,404
	貸家	30,645	▲ 4,239	▲ 12.2%	▲ 5,322	▲ 14.8%	26,164	29,511	28,413
	給与住宅	632	▲ 330	▲ 34.3%	156	32.8%	374	1,031	440
	分譲住宅	21,870	1,589	7.8%	▲ 3,106	▲ 12.4%	21,217	23,411	25,301
	うちマンション うち戸建	8,597 13,096	344 1,193	4.2% 10.0%	▲ 4,345 1,279	▲ 33.6% 10.8%	9,165 11,899	10,480 12,698	13,330 11,738
資金別	民間資金	73,234	1,104	1.5%	▲ 4,341	▲ 5.6%	64,203	71,087	68,744
	公的資金	8,307	▲ 838	▲ 9.2%	▲ 1,574	▲ 15.9%	8,378	8,302	7,814
	公営住宅	529	▲ 857	▲ 61.8%	▲ 723	▲ 57.7%	1,192	1,312	979
	住宅金融機構融資住宅	4,059	▲ 78	▲ 1.9%	20	0.5%	3,556	4,032	3,448
	都市再生機構建設住宅	0	0	—	0	—	481	108	0
	その他住宅	3,719	97	2.7%	▲ 871	▲ 19.0%	3,149	2,850	3,387
構造別	木造	48,071	1,788	3.9%	285	0.6%	42,218	45,179	41,428
	非木造	33,470	▲ 1,522	▲ 4.3%	▲ 6,200	▲ 15.6%	30,363	34,210	35,130
	鉄骨鉄筋コンクリート造	107	▲ 95	▲ 47.0%	▲ 707	▲ 86.9%	93	367	318
	鉄筋コンクリート造	19,644	▲ 654	▲ 3.2%	▲ 2,933	▲ 13.0%	19,374	22,005	23,280
	鉄骨造	13,624	▲ 748	▲ 5.2%	▲ 2,487	▲ 15.4%	10,794	11,726	11,456
	コンクリートブロック造 その他	43 52	▲ 28 3	▲ 39.4% 6.1%	▲ 27 ▲ 46	▲ 38.6% ▲ 46.9%	42 60	37 75	40 36



(出典：国土交通省ホームページ [http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku\\_list.html](http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html))

the wall

www.woodtec.co.jp/thewall

woodtec the wall  
new arrival

日本の壁に、新しい選択を。

その壁に個性はあるか。その壁に温もりはあるか。  
私たちのイメージする空間は、従来の常識で埋め尽くされていないか。  
想像しよう、あなたらしい空間を見つけよう、あなたらしい壁を。  
従来の選択肢に+αの可能性を。

東京ショールーム  
東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー  
リビングデザインセンター OZONE6 階 〒163-1006  
tel.03-5323-0567

大阪ショールーム  
大阪市中央区南本町 4-5-10 〒541-0054  
tel.06-6245-9238 fax.06-6271-8694

資料請求  
www.woodtec.co.jp/thewall  
tel.06-6245-9238 fax.06-6271-8694

作品集  
募集

施工例写真コンテスト開催中

応募期間 2019年7月1日 ~ 2020年1月31日  
応募資格 朝日ウッドテック the wall をお使い頂いたプロユーザー様  
審査員 谷尻誠 SUPPOSE DESIGN OFFICE Co., Ltd. 代表  
川上シュン artless.Inc 代表



→ 詳細は、応募サイトをご覧ください。